



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名 ワイエイシー株式会社
 コード番号 6298 URL <http://www.yac.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 武文
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 宮本 忠泰
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 042-546-1161
 平成23年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 6,584 | 42.3 | 181 | △49.2 | 162 | △54.9 | 308 | 177.6 |
| 23年3月期第2四半期 | 4,626 | 36.2 | 357 | — | 360 | — | 111 | — |

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 342百万円 (928.3%) 23年3月期第2四半期 33百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第2四半期 | 33.41 | — |
| 23年3月期第2四半期 | 11.97 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|--------|---|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第2四半期 | 21,394 | | 11,131 | | | 50.4 |
| 23年3月期 | 18,442 | | 10,898 | | | 59.1 |

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,779百万円 23年3月期 10,898百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |
| 24年3月期 | — | 10.00 | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 19,000 | 65.2 | 1,650 | 135.9 | 1,600 | 120.1 | 900 | 127.3 | 96.80 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社デンコー、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページの「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期2Q | 9,674,587 株 | 23年3月期 | 9,674,587 株 |
| 24年3月期2Q | 755,232 株 | 23年3月期 | 376,890 株 |
| 24年3月期2Q | 9,247,428 株 | 23年3月期2Q | 9,297,715 株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。
業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたりましては、添付資料3ページの「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. サマリー情報（その他）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 8 |
| (4) セグメント情報等 | 8 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は減速傾向が強まり、先行きの不透明感が広がっております。欧州ではギリシャをはじめソブリンリスクが顕在化し、グローバルな金融不安に波及する可能性があります。米国では雇用の低迷、そして個人消費の縮小により景況感が悪化しております。また中国をはじめとする新興国でもインフレ懸念から金融引締めが相次ぎ、成長ペースは弱まっております。一方日本経済は、東日本大震災による落ち込みからの回復が続いておりますが、これら世界経済の変調と円高の進行・長期化等の影響により、緩やかなものになっております。

このような経済状況のもとで、当社グループは、アジア地域を中心としたグローバルな営業展開に加え、グループ会社間の協調により売上を確保しましたが、顧客ニーズへの対応及び価格競争等の要因が収益を圧迫することとなりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高65億84百万円（前年同四半期比42.3%増）、営業利益1億81百万円（前年同四半期比49.2%減）、経常利益1億62百万円（前年同四半期比54.9%減）、四半期純利益3億8百万円（前年同四半期比177.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業用エレクトロニクス関連事業)

ハードディスク関連装置分野では、パソコン、カーナビ等の需要停滞により厳しい状況にありましたが、UVキュア機や搬送機等の拡販により業績は順調に推移しました。

半導体関連装置分野では、新興国の自動車・家電等に係る半導体需要やスマートフォン・タブレット端末等の需要により当初好調でしたが、先行きの不透明感から設備投資抑制が生じ、業績は後退傾向にあります。

液晶関連装置分野では、スマートフォン・タブレット端末等の需要により中型装置を中心に売上は確保しましたが、海外メーカーとの競合により、収益面では低調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、太陽光パネルの低変換効率パネルの過剰在庫に起因する設備投資の先送りや価格競争等により、業績は厳しい状況で推移しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は60億61百万円（前年同四半期比44.8%増）となり、営業利益は3億78百万円（前年同四半期比36.9%減）となりました。

(クリーニング関連その他事業)

クリーニング関連その他事業では、ライフスタイルの変化等に伴うクリーニング需要の減少により業界自体の収縮という厳しい受注環境のなか、国内外の営業強化を図るとともに一層のコストダウンに努め、売上高・収益を確保しました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5億23百万円（前年同四半期比18.7%増）となり、営業利益は49百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は174億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億38百万円増加しました。主な増加は仕掛品26億29百万円、原材料及び貯蔵品2億77百万円、現金及び預金2億32百万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金6億36百万円であります。固定資産は38億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億13百万円増加しました。主な増加は有形固定資産4億8百万円、無形固定資産27百万円であり、主な減少は投資その他の資産2億22百万円であります。

その結果、総資産は213億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億51百万円増加しました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は74億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億59百万円増加しました。主な増加は支払手形及び買掛金17億33百万円、短期借入金2億82百万円、1年内償還予定の社債1億40百万円であります。固定負債は27億95百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億58百万円増加しました。主な増加は社債1億76百万円、退職給付引当金1億55百万円、長期借入金87百万円であります。

その結果、負債は102億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億18百万円増加しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は111億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億33百万円増加いたしました。主な増加は少数株主持分3億52百万円等であります。

この結果、自己資本率は50.4%(前連結会計年度末は59.1%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、先行き不透明な世界経済のなか得意先企業の在庫調整、そして円高の進行に伴う海外メーカーとの競合等の懸念材料が多く、依然として予断を許さない厳しい状況にあり、今後もしばらく続くものと見込まれます。このような事業環境のなか、当社グループは中国を中心としたアジア市場への積極的営業展開を図るとともに一層の原価の低減・経費削減を行い、受注の獲得・収益の増大に努めてまいります。

連結業績予想につきましては平成23年5月13日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社である株式会社デンコーの発行済株式を追加取得し、連結の範囲に含めております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,538,008 | 6,770,938 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,775,778 | 5,139,312 |
| 商品及び製品 | 112,199 | 132,481 |
| 仕掛品 | 1,760,379 | 4,389,640 |
| 原材料及び貯蔵品 | 312,791 | 590,241 |
| 繰延税金資産 | 138,177 | 241,638 |
| その他 | 126,471 | 247,771 |
| 貸倒引当金 | △2,097 | △12,150 |
| 流動資産合計 | 14,761,707 | 17,499,873 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 1,804,413 | 2,237,924 |
| 減価償却累計額 | △1,268,233 | △1,595,062 |
| 建物及び構築物(純額) | 536,179 | 642,861 |
| 機械装置及び運搬具 | 60,347 | 224,825 |
| 減価償却累計額 | △50,227 | △189,274 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 10,120 | 35,550 |
| 工具、器具及び備品 | 1,337,516 | 1,489,675 |
| 減価償却累計額 | △1,044,641 | △1,241,371 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 292,875 | 248,303 |
| 土地 | 2,054,837 | 2,374,622 |
| リース資産 | 39,256 | 49,288 |
| 減価償却累計額 | △17,230 | △26,120 |
| リース資産(純額) | 22,026 | 23,167 |
| 有形固定資産合計 | 2,916,038 | 3,324,505 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 72,793 | 65,006 |
| その他 | 24,085 | 59,233 |
| 無形固定資産合計 | 96,878 | 124,240 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 376,062 | 137,522 |
| 長期貸付金 | 68 | 15,808 |
| 繰延税金資産 | 250,809 | 238,457 |
| 長期滞留債権等 | 68,231 | 68,209 |
| その他 | 51,206 | 63,615 |
| 貸倒引当金 | △78,231 | △78,209 |
| 投資その他の資産合計 | 668,146 | 445,403 |
| 固定資産合計 | 3,681,063 | 3,894,149 |
| 資産合計 | 18,442,771 | 21,394,022 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,658,055 | 5,391,940 |
| 短期借入金 | 687,496 | 969,702 |
| 1年内償還予定の社債 | 300,000 | 440,880 |
| 未払法人税等 | 12,724 | 21,854 |
| 賞与引当金 | 105,698 | 159,414 |
| 製品保証引当金 | — | 42,285 |
| 未払費用 | 221,527 | 221,021 |
| その他 | 221,177 | 219,208 |
| 流動負債合計 | 5,206,679 | 7,466,306 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 700,000 | 876,950 |
| 長期借入金 | 1,072,504 | 1,159,621 |
| リース債務 | 19,181 | 17,728 |
| 繰延税金負債 | 85,381 | 75,099 |
| 退職給付引当金 | 460,436 | 615,723 |
| 役員退職慰労引当金 | — | 50,775 |
| 固定負債合計 | 2,337,502 | 2,795,898 |
| 負債合計 | 7,544,182 | 10,262,204 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,756,680 | 2,756,680 |
| 資本剰余金 | 3,582,276 | 3,582,276 |
| 利益剰余金 | 5,126,850 | 5,342,822 |
| 自己株式 | △376,106 | △646,134 |
| 株主資本合計 | 11,089,701 | 11,035,645 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,076 | △4,018 |
| 為替換算調整勘定 | △200,188 | △252,286 |
| その他の包括利益累計額合計 | △191,112 | △256,305 |
| 少数株主持分 | — | 352,478 |
| 純資産合計 | 10,898,588 | 11,131,818 |
| 負債純資産合計 | 18,442,771 | 21,394,022 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 4,626,474 | 6,584,768 |
| 売上原価 | 3,445,247 | 5,329,420 |
| 売上総利益 | 1,181,226 | 1,255,348 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 役員報酬及び給料手当 | 288,805 | 406,864 |
| 賞与引当金繰入額 | 32,658 | 53,780 |
| 福利厚生費 | 14,635 | 18,536 |
| 賃借料 | 32,476 | 35,911 |
| 業務委託費 | 31,164 | 28,815 |
| 研究開発費 | 121,400 | 109,715 |
| 減価償却費 | 59,196 | 67,975 |
| その他 | 242,969 | 351,786 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 823,308 | 1,073,386 |
| 営業利益 | 357,918 | 181,962 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,989 | 2,176 |
| 受取配当金 | 1,035 | 1,602 |
| 受取賃貸料 | 5,619 | 5,902 |
| 補助金収入 | 22,206 | — |
| その他 | 7,213 | 6,397 |
| 営業外収益合計 | 38,064 | 16,078 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 19,502 | 21,523 |
| 為替差損 | 11,092 | 11,908 |
| ファクタリング料 | 217 | 29 |
| 持分法による投資損失 | 648 | 519 |
| その他 | 3,561 | 1,375 |
| 営業外費用合計 | 35,021 | 35,356 |
| 経常利益 | 360,961 | 162,684 |
| 特別利益 | | |
| 負ののれん発生益 | — | 201,517 |
| 特別利益合計 | — | 201,517 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 26 | 1,983 |
| 投資有価証券評価損 | 54,768 | — |
| 段階取得に係る差損 | — | 49,513 |
| 特別損失合計 | 54,795 | 51,497 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 306,166 | 312,704 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 121,559 | 6,082 |
| 法人税等調整額 | 73,333 | △101,326 |
| 法人税等合計 | 194,893 | △95,244 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 111,273 | 407,948 |
| 少数株主利益 | — | 98,999 |
| 四半期純利益 | 111,273 | 308,949 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 111,273 | 407,948 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,256 | △13,629 |
| 為替換算調整勘定 | △73,737 | △52,097 |
| その他の包括利益合計 | △77,994 | △65,726 |
| 四半期包括利益 | 33,279 | 342,221 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 33,279 | 243,757 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | 98,464 |

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合 計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------------|-------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 産業用エレクトロ ニクス関連事業 | クリーニング関 連その他事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,185,610 | 440,863 | 4,626,474 | — | 4,626,474 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,185,610 | 440,863 | 4,626,474 | — | 4,626,474 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 599,799 | △17,999 | 581,799 | △223,880 | 357,918 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△223,880千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合 計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-----------------------|---------------------|-------------------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 産業用エレクトロ ニクス関連事業 | クリーニング関 連その他事業 | | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 6,061,370 | 523,397 | 6,584,768 | — | 6,584,768 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 6,061,370 | 523,397 | 6,584,768 | — | 6,584,768 |
| セグメント利益 | 378,330 | 49,405 | 427,736 | △245,773 | 181,962 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△245,773千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社の本社管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「産業用エレクトロニクス関連事業」セグメントにおいて、第2四半期連結累計期間に株式会社デンコーの株式を追加取得したことにより、持分法適用関連会社から連結子会社となりました。この結果201,517千円の負ののれん発生益を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。